



自社技術を活用し医療用マスク紐等を開発

自動車内装材用ファンシーヤーンの技術を活かし、新たな事業分野開拓を目指しマスク紐やろ過機用の繊維ろ材など需要の拡大が見込まれる製品の開発。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

10年程前から事業展開を思案する中で、代表者自身がマスク着用時のゴム紐に違和感があったことから開発に取り組むことになった。

マーケティングについては得意先である大手商社より情報を収集し、加えて、中小事業基盤整備機構よりみえるアドバイザーの助言なども受けた。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果として挙げられることは異業種に参入することで、従業員のモチベーションが上がり、展示会出品など積極的に取り組むようになった。自社製品に対して誇りが持てるようになった。

困難だったことは技術面において、得意先の要望(スペックなど)に合わせるのが難しく、試作を何度も繰り返した事である。

業況等について

カーシート、インテリアファブリックなどの燃系製造業を主要業務とし、昭和41年の創業以来45年の業歴を有する。

しかし、近年の業況は芳しくなく、売上高はピーク時の半分程度に落ち込んでいる。更に、5年程前には受注元のコストダウンの影響を受け、最近では東日本大震災の影響を受け、業況は不調。多少持ち直してはいるが、今後も見通しは明るくない。

参入事業の概要としては現在、医療用マスク紐及び水浄化せんい濾過材を製造し、売上高構成比は30.0%となっているが、業況としては7年前から開発を手がけ、3年前から流通している。花粉症対策により市場規模は拡大傾向にあるが、まだ先が読めない状況である。

今後の展望・見通し

少しずつでも本業を超えるべく、参入事業に注力している。将来的には全国及び海外展開を視野に販路開拓に取り組む。

メリット・デメリット

メリットとしては、最大の目的である事業承継がスムーズに進んでいることである。

デメリットは特にない。

異業種参入時のアドバイス

異業種に参入して7年半になるが、順調にきているので特にアドバイスできるようなことはない。

問題点、改善点を経て、アドバイスできるが、現在のところ具体的なアドバイスはない。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度
平成20年度「中小企業基盤整備機構 地域資源物づくり助成金」を利用した。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

応募要項に関する規制をわかりやすくしてほしい。

会社概要

設立:昭和42年5月

資本金:100万円

従業員数:15名

URL:<http://www.nagai-nenshi.com>